



ゼロカーボンシティ!

あの提案は  
どうなった?

市内全ての学校  
体育館へのエアコン  
設置が一步前進!!

田久をご通行される  
皆様へのお願い

市の防災について

赤間小学校校舎及び学童  
保育施設のハード面に  
関する課題

通学路の安全について

安全でこそ安心できるまち

一般質問の感触

いつも全力!大切な宗像のために。  
議員活動報告書

アベマガ

一般質問の感触

※詳細は市議会ホームページの動画や議事録をご確認下さい。

安全でこそ安心できるまち



通学路の安全について

H31年の再質問

通学路交通安全プログラムについて、市民に分かりやすい公表や危険箇所の改善を提案した方(団体)への丁寧な返事を行うようにさらなる改善を求めました。(今後もより改善してくださる感触)

事故多発区域や、駅周辺など開発が進みさらなる交通量の増加が見込まれる通学路などにおいて、通学時の取り締まり強化や低速啓発を行う目的で路面標示対策等の充実を図って欲しいと要望、重ねて鎌倉市の歩行者尊重道路の事例(右記参照)を紹介して要望。(参考に検討してくださる感触)

通学路の不審者対策として福岡市の防犯教育を参考に研究してほしいと要望。(研究してくださる感触)

鎌倉市HPより 歩行者尊重道路「小町大路(辻説法通り)」での取り組みについて

●小町大路にて実施した安全対策(“立体に見える”路面標示)

小町大路の南北の入口それぞれに「歩行者尊重」の文字を立体的に見えるように路面標示を行い、この道路が歩行者尊重道路であることをドライバーに訴えるものです。

また、「30km/時」を示す既存の路面標示の手前には、「思いやり」という文字を立体に見えるように路面標示を行い、30km/時の制限速度(※)を守って歩行者に配慮した走行となるようドライバーに促すものです。

※30km/時を超える交通事故では歩行者の致死率が急激に上昇します。このため、生活道路において30km/時以下で走行することは、歩行者とドライバーの双方にとってメリットがあります。

●歩行者尊重道路

地域の方々と協働により歩行者の安全・安心な通行を確保する取り組みを行う道路のことです。歩行者尊重道路の安全対策は、それぞれの道路ごとに「交通事故発生件数」「自動車走行速度」「ピーク時歩行者・自転車交通量」「ピーク時自動車交通量」の各項目について評価した結果を得点化しその合計点を基に優先順位を決定し、順次実施することとしています。



鎌倉市HP▶

“立体に見える”路面標示



“立体に見える”路面標示



田久をご通行される皆様にお願ひがあります。

生まれ育った田久区の皆様から“地域を通行する自動車のスピード”について、「通学中の子どもが事故にあわないか心配」「駅に向かう車がスピードを出していて怖い」といった不安の声を度々いただいています。

実際に、H29年度とR2年度に田久の子ども会、自治会から赤間小学校を通じて市に対して「ゾーン30」の検討を願う要望書が2度提出されました。とても残念ですが、課題があって進んでいないのが現状です。

その代わりに“できることから”という事で、住民の方による交通安全の見守りボランティアですとか、行政にスピード抑止のための標識を設置、取り締まりをしてもらったりして、少しでも安全安心な通学路になるようにご協力をいただいているところです。

しかし、それでも速度超過の車は減っておらず、近年は団地の開発、アパート建設などによって新しい市民の方々も増えているので、通過交通量も増えて行くのではないかと考えます。

私も、これまでも市への要望は行っていますが、今後は井上正文県議からのご指導を賜り、行政にさらなる工夫改善を求める所存です。

この地域にお住いの皆様、この地域を車で通行される皆様に対しまして歩行者へのご配慮、30キロ運転へのご理解とご協力をお願いいたします。





## 赤間小学校校舎及び学童保育施設のハード面に関する課題

R2年の  
再質問

学童保育も含めた改修計画の策定を住民、関係者と共に進めていただいていることが判りました。(一安心)



## 市の防災について

消防団の人員確保のための要件緩和や処遇改善等について今後の見通しを質問したうえで、「地域の実情や将来の見通し、負担軽減の視点も含めて定数のありかたを検討して欲しい」「要件緩和や処遇改善については消防団の誇り、団結力や正義感のモチベーションを損なう事の無いような配慮をして欲しい」「消防団の広報活動についてもより力を入れて欲しい」と要望しました。(丁寧に協議を進めてくださる感触)

H29年の議会で技術系職員の育成計画の策定について先進自治体の資料も交えて提案していましたが、その後R3年より、本市独自のものを策定して承継のために取り組んでくれていることが判りました。

H29年9月議会で、宗像市ボランティアセンターに災害ボランティアの登録枠を設け、不測の事態に備えてはどうかと提案しました。その時は社会福祉協議会と協議しながら研究したいとの答弁だったので、その後の進捗を質問しましたが課題がありあまり進んでいない印象です。

R2年の議会で避難行動要支援者名簿の整備についてケアマネジャーと連携してはどうかと提案しましたが、国の法改正によって課題の一部がクリアとなったので、今後進む感触を得ました。

住宅や事業所建物向けに太陽光発電パネルと蓄電池の普及促進を行うことは、災害時の電源確保の観点から有効と考えるが、設置に対する補助制度の創設等を検討することができないかと質問しましたが、制度の可能性を検討してもらえる感触を得ました。

## 市内全ての学校体育館へのエアコン設置が一步前進!!

赤間、赤間西、吉武地区のコミュニティ会長から伊豆市長に、城山中学校の校舎整備にあわせて体育館へのエアコンを設置する要望書が提出されました。

私達宗像志政クラブも会派の中で、財源の確保策や市内全ての体育館への設置も視野に入れた計画策定の必要性等の議論を重ね、12月議会で会派を代表して伊達議員が質問を行いました。

その時に伊豆市長から市内全ての学校体育館へのエアコン整備に向けた検討を進めていく旨の答弁をいただきました。

## ?あの提案はどうなった?

### ゼロカーボンシティ!

R3年9月議会で提言した「ゼロカーボンシティ宣言」は、10月に宗像国際環境会議の席で伊豆市長が宣言を行いました!

また、「専門部署の設置」に関して12月議会の審議過程でR4年度に「脱炭素社会推進室」という部署を設置することが判りました!!

今後も、限りある財源の中でできる限り設置が進むように、教育防災補助メニュー以外にもゼロカーボンシティ宣言による環境政策の有効な補助メニューなどの活用ができないか研究するとともに、県や国への働きかけ等について丁寧な協議を進めて参る所存です。



Website



Facebook



YouTube



Instagram



twitter



安部よしひでの最新情報を各 SNS にて発信しています。